

業務時間：8:30~17:30

施設案内

休所日：毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合、その翌日)

どんな施設なの？

社会教育の振興に資することを目的に設置された施設です。

何ができるの？

- 自然体験活動
- 団体宿泊訓練
- スポーツ
- 各種研修
- ワークショップ
- 野外プログラム

設備は？

- キャンプ場
- 運動広場
- 天体観測デッキ
- ハイキング・登山コース
- 浴室
- 食堂
- 研修室
- 宿泊室
- 体育館
- 講堂

誰でも利用できるの？

2名以上の団体なら、家族でもサークルでも、企業や職場の仲間でも誰でも利用可能です。

どこにあるの？



ご予約からご利用までの流れ

1. 利用希望日が決まったら、お電話ください。
「空き状況」を確認します(仮予約)。
 2. 利用予定日の1ヶ月前までに、申請書※をご送付ください(本予約)。
 3. 利用予定日の2週間前までに、スタッフと打ち合わせや施設の下見を行います。
 4. ご利用日当日は、スタッフが適宜研修をサポートいたします。
- ※申請書は当施設HPよりダウンロードしてください。

◆ 宿泊・施設利用料金 ※平成26年4月1日より料金改定

種類	宿泊室	キャンプ場 (テント泊)	野外炊飯 (薪代)	研修・訓練室 ※団体あたり	体育館・講堂 ※団体あたり
児童・生徒	310円/人	150円/人	50円/人	150円/時間	360円/時間
学生・一般	620円/人	260円/人	50円/人	360円/時間	720円/時間

※学校等の教育課程に基づく教育活動で利用する場合、予め免除申請書を提出いただければ、高校生以下の児童・生徒の利用料金が免除されます(但し、食事代とシーツ代、薪代は別途必要となります)。

発行 2014年(平成26年) 3月31日(月)



名護市名護5511

TEL:0980-52-2076 FAX:0980-52-3082
http://www.opnyc.jp/

指定管理者



ブログ
も見てね!
QRコード



http://www.opnyc.jp/
スタッフブログ/



キャンプ場に咲くミヤコグサ

新年度スタート!!



沖縄美ら島財団による指定管理2年目を迎えます。昨年度の主催事業及び自主事業では皆さんの積極的な参加のおかげで無事に「わった一施設」として役割を果たせたのではと職員一同感謝しています。今年もさらに皆さんが活用しやすく、より内容を充実した事業を実施します。「マタンメンソーレ」

指定管理者 沖縄美ら島財団
沖縄県立 名護青少年の家
所長 照屋 厚

新職員紹介

☆事務長☆



狩俣 孝浩

☆事務補助☆



與儀 滝太

☆専門職員☆



我那覇 勇生

☆専門職員☆



坂下 光洋

よろしくお願ひします



事業報告

主催事業

やんばるの生態を学ぼう

県の主催事業「やんばるの生態を学ぼう」を3月1日、名護青少年の家で開催しました。沖縄美ら島財団・総合研究センター研究二課係長の阿部篤志が講師を務め、約20人の皆さんがやんばるの植物に理解を深めるなどしました。



講師の説明を真剣に聞く参加者

この日はまず座学で講義を行い、県内で見られる様々な植物について解説を受けたあと、当財団が作成した名護岳登山道ハイキングコースのマップ付き「動植物観察ガイド」を持ってAコースと沢コースでのフィールドワークへ。コースを進むにつれて参加者のみなさんから気軽に質問が上がったり、参加者同士で教えあったりし、和やかなムードの中やんばるの植物への興味を深められた様子でした。本部町から参加した岩井浩之さん(47)は「これまでハイキングコースにはよく来ていたのですが、気にも留めていなかった小さな植物などについて教えてもらい驚きの連続でした。大変有意義な時間を過ごせました」と話してくれました。



「動植物観察ガイド」を参考にして観察

〈担当・神谷より〉 天候に恵まれ、参加者の方々と楽しくやんばるの自然を満喫することができました。また「動植物観察ガイド」を利用しながら

のフィールドワークは、参加者からも好評でさらにわかりやすい解説になったと思います。これを機に自然に触れる楽しさや素晴らしさを知るきっかけになれば幸いです。参加者の皆さん大変お疲れ様でした。

主催事業

やんばる青年の集い

県の主催事業「やんばる青年の集い」を3/9(日)、本館食堂で開催し、北部12市町村全域から71名の青年が参加しました。この日の参加者は、普段各地域でエイサーや清掃活動等の地域ボランティア、市町村の祭りの裏方や企画運営を担っている青年のリーダーたち。名護青少年の家を会場とし、やんばる各地域の活性化について意見を交わしました。北部地区青年連絡協議会の中間哲朗会長は「まだまだ、まとまった活動が定期的に行っているわけではないので、まずは“楽しい”ということから始めて、次につながるようにしていきたいです。年間6回は名護青少年家で会議を開き、残りの6回は各地域へ出向いて、青年間の交流を深めていきたいです」と抱負を語ってくれました。



北部12市町村全域から71名の青年が参加

〈担当・主任 古網より〉

青年会活動が活発だった昔と違い、この主催事業「やんばるの青年の集い」は長い間開催できないでいた事業です。まずは“集まる”ことから第一歩を踏み出せました。今後も青年会の活動を応援し、各地域を支えていきたいと思っています。

主催事業 食と身体づくり～沖縄を食べよう～

県の主催事業「食と身体づくり～沖縄を食べよう～」を3月16日(日)、名護青少年の家で開催。約30人の皆さんが県産食材を使用した野外炊飯を行い、「食育」についての理解を深めました。



ふっくらと出来上がったアーサパン

メニューは「手作り石釜で焼くアーサパン」「県産キノコと鶏肉アヒージョ」「琉球ストロングカレー」の3種。アーサパン作りでは県産アーサを混ぜ込んだ生地を根気よく捏ね上げ、耐熱ブロックなどを組み合わせ、アーサの香り高いパンを焼きあげました。できあがった料理は、鈴なりに実をつけたカンヒザクラのもとで試食し、和やかな時間を過ごしました。



参加者の皆さん

那覇市から参加した世嘉良奈緒美さんは「子どもと一緒に何かしたいと考えていたときに友だちに誘われて、以前、名護青少年の家の親子キャンプに参加しました。今回も親子で参加できる良い企画と思い申し込みました。楽しい時間を過ごせ、とても中身の濃い内容で満足しています。低価格なのも良かったです」と感想を教えてくださいました。なお、この事業に合わせて当所本館1Fロビーで3月1日～30日、食育についてのパネル展も行いました。

〈担当・我那覇より〉今回は「地産地消」「伝統食材」そして「楽しくおいしく」の3つのテーマで企画しました。皆さんから好評をいただけてうれしく思います。パン作りではキーポイントの発酵過程もうまいくい、ほぼ予定通りに進められて良かったです。今後も特色のあるユニークな「食」に関する企画を実施していきたいと思っています。皆さんのご参加をお待ちしております。

主催事業 キッズアドベンチャー

県の主催事業「キッズアドベンチャー」を3月21日～23日の2泊3日で行い、県内の小学生15人が参加しました。まずは交流を図る「アイスブレイク」でスタート。最初は初めて同士で遠慮がちでしたが、斑対抗で協力してゲームを行うなどし、徐々に交流を深めました。夕方にはハイキング



余裕のピースサイン!!



海洋博公園を目指す参加者

コースに繰り出して名護岳の自然観察も行いました。2日目は本事業のハイライトであるサイクリングを行いました。ロードバイク競技経験者の専門職員たちの指導のもと、当所を出発し本部半島へ。児童らはそれぞれのペースで自転車をこぎ進み、本部町の海洋博公園までの往復約60キロを音を上げることなく走破しました。その日は野外炊飯も行い、テント泊で仲間と一夜を過ごしました。3日目はクラフト

作りで、植物を使った型押し染めも体験。2泊3日を共に過ごした児童らはすっかり打ち解けた様子で和気あいあいと楽しんでいました。宜野湾市大謝名小学校4年生の木村孟徳君は「この3日間でみんなでサイクリングや野外炊飯、型押し染めなど、いろいろなことができてうれしかったです。あまりこのような体験はできないので、良い経験になったと思います。次はサイクリングをもっとやりたいです」と話してくれました。

〈担当・宮里より〉様々なアクティビティを行いました。特にサイクリングで約60キロを走り切ったことは、今後大きな自信になるでしょう。渡してある地図は、また親子でチャレンジするなどして活用してください。今回は女子の参加はなく、野外炊飯は“男ばかりで晩御飯を作り上げる”ということでしたが、サイクリングの後でもよく頑張ってくれました。